

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 17 日(土)

試合時間：16:40～

主審：峰 聰

副審：野田 宏樹

九州産業大学	○ 7 7	25	—1st—	8	● 5 6	九州国際大学
		17	—2nd—	13		
		17	—3rd—	14		
		19	—4th—	21		

第 1 ピリオド

立ちあがり九産大は、# 3 2 橋口の 3 P シュート、# 2 9 舟越のバスケットカウントなどでリズムを作っていく。さらに堅い守りから、高さを武器にディフェンスリバウンドで相手にセカンドチャンスを与えない。九国大は、残り 4 : 0 9 にタイムアウトを請求。その後、九国大 # 1 4 江崎を中心に攻め込むも得点をする事ができず、2 5 - 8、九産大 1 7 点リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

先に得点したのは、九国大。# 1 2 田中のバスケットカウント、# 1 4 江崎の鋭いドライブでオフェンスを組み立てていく。その後も、粘り強いディフェンスで点差を詰めていく。しかし、九産大の速攻や合わせなど、息の合ったプレーで得点を量産していく。終盤、九産大 # 2 9 舟越のドライブシュートなど、九産大のオフェンスの流れは止まることなく、4 2 - 2 1、九産大はリードを広げて、前半を終える。

第 3 ピリオド

後半は両チーム共に、激しいディフェンスで相手に得点を与えない。先に流れを掴んだのは九国大。# 7 金田の得点を機に、前からプレッシャーをかけていく。大量リードで試合を進めていく九産大は、# 4 7 宮崎が正確にジャンプシュートを決めるなど、九国大との差を確実に広げていく。後半に入っても攻撃の手を緩めることはなく、5 9 - 3 5、九産大リードで最終ピリオドを迎える。

第 4 ピリオド

ますます勢いに乗る九産大は、# 1 3 上良、# 3 0 松川が立て続けに 3 P シュートを決め、さらに # 2 9 舟越の速攻で相手を突き放す。九国大たまらず残り 8 : 5 0 にタイムアウトを請求。九国大 # 2 7 川口の 3 P シュート、# 7 金田のドライブシュートなどで点差を縮めていく。しかし、九産大はスピードのあるオフェンス、正確なシュート、高く力強いリバウンドでリードを広げていく。終始主導権を握った九産大が、九国大を寄せ付けることなく、7 7 - 5 4 で九産大が白星で 1 巡目を終えた。